



東陵



第27号

福岡県立嘉穂東高等学校同窓会報

発行／令和6年10月 飯塚市立岩1730の5 嘉穂東高等学校(全日制)同窓会

変わらぬ伝統
深まる同窓の「絆」





ごあいさつ

東陵27号の発刊によせて

福岡県立嘉穂東高等学校(全日制)同窓会 第9代会長

花田 正 (高校23回生)

今年の夏は異常に暑い夏でした。この暑さは9月も続きました。母校の体育祭は9月6日に冷房設備のある飯塚市体育館で行われました。このような炎天下の中、練習や実施を学校グラウンドで行うことは、職員や生徒の健康面から無理があると思われます。青空の下、広いグラウンドで高校生が躍動する体育祭を期待するのは、もう時代遅れなのかもしれません。しかし、昭和世代の我々にとっては、少し寂しさを感じます。体育館という狭いスペースの中でも生徒たちは一所懸命、競技や演技を行っていました。今後は、こういった室内での体育祭が主流になるのでしょうか。

ちなみに、飯塚の過去の最高気温を調べてみました。体育祭の準備期間を考慮して、毎年の8月1日から9月10までの日々の最高気温の平均値を調べました。

1960年代の10年間の平均は31.8℃、1970年代は31.1℃、以下1980年代30.6℃、1990年代31.4℃、2000年代31.8℃、2010年代31.6℃でした。

「昔の夏は今ほど暑くなかった」という声をよく聞きますが、2010年代までの60年間はそれほど変化ていませんでした。ところが、2020年代になると様相が一変しています。2022年は32.4℃、2023年は32.7℃、そして今年2024年は34.4℃でした。平均値ですから、35℃を超える日が2024年はかなりあったことになります。これからは、環境の変化に対応した学校行事内容の改革がますます求められるのでしょうか。

同窓会各支部の総会が4月から今年も盛大に行われました。そして、本部総会・懇親会も『東志』というスローガンのもと、51回当番生が頑張って準備してきました。最高の同窓会・懇親会を実施してくれると期待しております。

『本会は会員協同して同窓としての親睦を深め、母校

の発展に尽くし、併せて社会奉仕につとめることを目的とする。』と本校同窓会の目的を定めています。総会ならびに懇親会をはじめとして各地区や各回生での会員相互の親睦を図る活動が行われています。また、母校への支援として奨学事業などの他、在校生や後輩たちへの有形無形の支援活動を実施しています。そして、同窓会の存在理由の要諦は、会員相互の絆にあると考えます。

少しでも関心をもって母校のため後輩のためにそれぞれができる範囲で支援・協力をしていく人的ネットワークこそが同窓会です。これを読まれている在校生の皆さんも、将来、同窓生としてネットワークに積極的に参加してください。

昨年より、同窓会名簿製作に取り掛かっています。来年秋に発刊になる予定です。現在、同窓生の正確な住所を調べながら、同窓会会員全体を把握できる貴重な冊子を目指して、名簿製作に取り組んでいます。是非多くの同窓生に、同窓会名簿を購入してもらいたいと思っています。一度も、同窓会名簿を購入されたことのない方にこそ、購入をお願いします。亡くなられた方も含めて3万人以上の卒業生の名前が記載されている名簿です。

最後に、今回も無事、第27号東陵が発刊出来たことは、嬉しい限りです。編集等に携わられた広報部の皆さん、ありがとうございました。

同窓会会長として、至らない点が多々あろうかと存じますが、会員の皆様には引き続き、本校同窓会にご協力をお願い申し上げますと共に、皆様のご多幸とご健勝をお祈り申し上げご挨拶と致します。



ごあいさつ

福岡県立嘉穂東高等学校 第37代校長

篠崎 博

2024年度嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校同窓会の開催を心よりお慶び申し上げます。

私は、昨年度から引き続き校長を勤めております篠崎博と申します。

私の父が本校4回卒の男女共学の1期生で、この1期生入学の年に、嘉穂東高等学校と校名が変わり、現在の校章や校歌は全て当時の先輩方の手によって作られたと記録されています。私はこのことにインスピライされ、「生徒を主語にした」学校づくりを昨年度から力強く進めています。その期待に応えるかのごとく、生徒たちの成長はめざましいものがございます。

いろいろなことを生徒たちに任せますと、頼りない部分が目立つことがあります。学校ではそこを生徒に任せきつていく取り組みを重ねており、表面上の変化はそれほどではなくても、生徒たちの意識が、この1年で本当に様変わりしていることが分かります。

例えば、昨年の同窓会総会にて当番会期の皆様から生徒会に頂戴した50万円は、生徒会が自分たちで集めた募金と合わせて能登半島地震の義援金として、この3月に本校39回卒の藤江美奈飯塚市副市長にお預けし、日本赤十字社にお届けいただけたのも生徒たちからの提案によるものでした。

また、6月の文化祭では1000名を超える来場者で大変賑わったところですが、その企画と運営は全て生徒たちの手によるものでした。さらに9月の体育祭は、生徒たちの発想による刷新した内容で、飯塚市総合体育館での初の屋内実施を果たすことができました。

生徒たちはこのように新しい嘉穂東高校文化の創造に次々とチャレンジしています。とりわけ部活動では、バスケットボール部男子が2年連続筑豊大会優勝、また卓球部が男女で筑豊大会優勝し、校長室にはこの優勝旗が3本並び、さらに美術部が全国大会、弓道部が県大会準優勝で九州大会、加えて水泳部も九州大会に進出しまして、この3つの部活動を応援する横断幕を新飯塚駅に掲げることが出来ました。

これからも皆様の母校、嘉穂東高校の、先輩方がその素地を作ってくださった「生徒を主語にした」伝統を、今の時代に合った形で継承し、発展させる、この伝統と革新を融合させた学校づくりをさらに進めてまいります。

そのためには、本同窓会のますますの発展と温かい励ましが必要です。母校の後輩達に引き続きの熱い期待とさらなる御支援をお願い申し上げ、御挨拶とさせていただきます。





嘉穂東高校のレポートです。
現在の学校の様子です。



2024年
9月6日

変わらぬ伝統、新時代の体育祭へ

近年の酷暑ともいえる気候の中で、生徒及び観覧に訪れる保護者等の熱中症対策など健康や安全を確保すること、そして校舎の大規模改造工事の中で校内実施に様々な制約があり、安全な運営のために今年度は新時代の体育祭として、学校のグラウンドではなく、飯塚市総合体育館を貸し切って実施されました。

グラウンドとは違い、体育館のフロアで行うため、種目も条件が制限されます。体育祭実行委員会及び生徒会は企画設定に協議・折衝を重ね、運営に部活動生徒の協力をお願いするなど、社会に出た時の「(他

者と協働して)生きる力」を十分に身につけることができたと思います。

新時代の体育祭のプログラムの中には、「御神楽」など、本校の伝統を引き継ぐ種目も実施されました。静と動の織り成す素晴らしい演舞は、観覧に来た方々を魅了するものとなりました。



▲新しくなった飯塚市総合体育館

2024年
7月~

校舎大規模改修工事始まる

百余年の歴史を誇る歴史の中で、これまで明治43年に飯塚市西町の地に創立され、現在の地に昭和11年に移転し、昭和28年には校舎の焼失などの歴史もありましたが、多くの同窓生をこの学び舎は育んできました。

令和6年度6月までに基本設計等を含め、種々の契



▲工事中の校舎



▲焼失時

完成予想図▶



▲移転時の校舎

約を終えて、いよいよ7月から特別教室棟を皮切りに大規模改修工事が始まりました。すべての工事が終了するのは令和10年度末というかなり長い期間をかけて、生徒の教育環境を一新していきます。

今回の工事の改修コンセプトは、多様性のある進路選択を応援する嘉穂東高等学校にふさわしい校舎となるように、「『群造形で多様性を表現する』とし、新旧混ざった異なるものが共存する風景を、多様性になぞらえて新たな外観とする。外側では凛とした高校の姿を、内側では遊び心のある潤いのある環境を形成します」となっています。



この数年間、生徒には騒音や通行経路の制限など不便な教育環境となりますですが、生徒主体の教育活動ができるように、学校全体で取り組んでいきます。

嘉穂東高校 母校の動き



令和6年度 教職員の異動

【退職】

教諭(再) 伊藤雅之 鞍手高等学校常勤講師

【転出】

副校長	新谷毅司	直方高等学校へ
教諭	永松聖子	鞍手高等学校へ
教諭	田邊悠一	福岡魁誠高等学校へ
教諭	上村浩朗	東鷹高等学校へ
教諭	東條香代	香椎高等学校へ
教諭(再)	瀬口和幸	八幡中央高等学校へ
参補兼次長	須堯敏博	嘉穂特別支援学校へ(事務長)

【転入】

副校長	太田邦彦	中間高等学校より
教諭	小山智可	福岡魁誠高等学校より
教諭	中村香織	稻築志耕館高等学校より
教諭	矢ヶ崎富士子	福岡農業高等学校より
教諭(再)	甲斐直樹	
主事	和仁屋みづき	県立図書館より
主事補	樋崎加代子	久留米市立鳥飼小学校より

【新規採用】

教諭	山本金之介	
教諭	月川周悟	市町村立学校から転任

卒業生進路実績 ※合格者延べ人数

第76回生(令和6年3月卒業)進路状況

○国公立大学	4名	
・福岡県立大学	1名	・北九州市立大学 1名
・大分大学	1名	・周南公立大学 1名
○私立大学	131名	
《県内》120名		
・九州産業大学	29名	・福岡大学 27名
・九州共立大学	13名	・西南学院大学 12名
・福岡女学院大学	9名	・筑紫女学園大学 7名
・中村学園大学	5名	・久留米工業大学 3名
・福岡工業大学	2名	・久留米大学 2名
・九州女子大学	1名	・西南女学園大学 1名
・令和健康科学大学	1名	・近畿大学産業理工学部 1名
・西日本工業大学	1名	・福岡国際医療福祉大学 1名
・純真学園大学	1名	・日本経済大学 1名
・第一薬科大学	1名	・福岡看護大学 1名
・九州看護福祉大学	1名	
《県外》11名		
・東海大学	2名	・帝京大学 1名
・日本文理大学	1名	・長崎国際大学 1名
・梅光学院大学	1名	・龍谷大学 1名
・京都芸術大学	1名	・東京女子体育大学 1名
・放送大学	1名	・崇城大学 1名
○公務員最終合格者	36名	
・国家公務員	4名	・福岡県職員 2名
・海上保安官	1名	・福岡県警察 1名
・飯塚市職員・宮若市職員・中間市職員・桂川町役場		各1名
・北九州市消防・中間市消防・粕屋南部消防		各1名
・自衛官	14名	・一般曹候補生 7名
○短期大学	11名	
○医療系専門学校	14名	
○その他の専門学校	48名	
○民間就職	12名	

部活動実績報告

【水泳部】

■令和6年度 全九州高等学校体育大会
第72回全九州高等学校 水泳(競泳)
競技大会



[会場:長崎市民総合プール]

令和6年7月12日~15日

吉元凪翔(3年) 400mフリーリレー
岡村海秀(3年) 1500m自由形・400mフリーリレー
手島慶二(2年) 100mバタフライ・400mフリーリレー
塩田 真(1年) 200m自由形・400m自由形
400mフリーリレー
宮房 慧(1年) 1500m自由形

■第78回国民スポーツ大会(競泳競技)

[会場:SAGAサンライズパーク SAGAアクア]

令和6年9月14日~16日

塩田 真(1年) 少年男子B 400m自由形

■令和6年度(第86回末広杯)

全九州高等学校選手権 新人水泳競技大会

手島慶二(2年) 100mバタフライ・200mバタフライ2位入賞
400mフリーリレー・400mメドレーリレー

和田竜資(2年) 400mフリーリレー・400mメドレーリレー

塩田 真(1年) 200m自由形・400m自由形
400mフリーリレー・400mメドレーリレー

宮房 慧(1年) 200m自由形・400m自由形
400mフリーリレー

400mメドレーリレー

【弓道部】

■令和6年度 全九州高等学校体育大会

第70回全九州高等学校 弓道競技大会

[会場:レゾナック武道スポーツセンター] 令和6年7月6日~7日

谷 琉人(3年) 角島 廉(2年) 井村颶斗(3年)

室園正史(3年) 杉田尚之(3年) 原中翔大(3年)

丸目愛空(3年)



【美術部】

■第48回全国高等学校総合文化祭 絵画部門

[会場:岐阜県美術館・市民会館]

令和6年7月31日~8月2日

仲道こころ(3年)

絵画

『魔法をかけて』

令和5年度

福岡県高等学校

総合文化祭

美術・工芸展

全国大会推薦



同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会



第19回 嘉女・嘉穂東会 inくまもと

■開催日: 2024年4月6日(土)

■場 所: アークホテル熊本城前

今年も同じ時期に、同じ場所で会を持てましたことを、心よりお礼申し上げます。本部より花田会長ほか2名の役員の方、福岡支部より幹事長、事務局長様、母校より篠崎校長、嘉穂高校熊本支部副支部長様、今年度実行委員の皆様など、31名のご参加を頂きました。

今年度初参加の21回生の方は長く熊本にお住まいだったということで、同窓生検索にはまだまだ力を入れていかなければならないと痛感いたしました。

嘉女28回佐藤様、3回戸田様と、今年3月に高校を卒業して、熊本の大学に進学した76回山本さんが仲良く写真を撮られていたことは、感慨深いことでした。恒例の「熊本城城主くじ」は鹿児島から毎年ご参加の16回高盛様が見事に引き当てられました。

校歌齊唱では、50回生荻野さん、森藤さんの本物の応援団のリードで、大変盛り上りました。

「人生100年時代」の到来と言われています。楽しいセカンドライフの真ん中に、同窓会があつてほしいと思っています。

また来年も4月第一土曜日に開催の予定です。皆様どうぞ、熊本にお越しください。

代表 畠山 祐子(高校32回生)



第15回 関西支部総会・懇親会の報告

■開催日: 2024年4月20日(土)

■場 所: 天満橋・大阪キャッスルホテル

第15回の総会・懇親会を4月20日に開催しました。会員の高齢化などでなかなか参加者が増えない中、「なんとか会員で50名参加してもらおう」と役員会・幹事会で意思統一をし、案内状への「幹事からの手書き手紙」の封入や電話での呼びかけなども精力的に行いました。結果として会員51名(新会員2名含む)、花田会長、篠崎校長を含め来賓6名、49・50・51回生の当番生12名、合計69名の参加で賑やかに開催することができました。

総会では50回生から役員補充、47回生・50回生から幹事就任など世代の新たな中心層も厚くなりつつあります。

懇親会企画では恒例となった「還暦・古希・卒寿の祝い」や、51回当番生からの「故郷スライド」、好評の故郷の懐かしいお菓子やお酒が当たる「福引き」などで大変賑わいました。会員の「思い出の品・作品展」も4回目となり、出展作品も「書と絵画」「写真」「書道」「洋裁」「スケッチ」と会を重ねる毎に出展が増えて、これも恒例企画に「昇格!」です。最後は応援団出身の幹事50回生森藤君と8回生の八尋さんのリードで「逍遙歌」「校歌」齊唱、フレフレ東!の唱和で締めくくることが出来ました。その後、5月25日に『古都の新緑を味わう』と銘打って17名の参加で春のハイキングを取り組みました。インクライン



から琵琶湖疎水(記念館含む)、南禅寺の方丈や山門を巡り参加者も満足の様子でした。

7月13日には第一回幹事会を開き、総会の振り返りを行い、「雰囲気はとても明るくて、当番制も元気で活気づけてくれた」「初めて参加された方がテーブルだけでなく、他の先輩との交流もあればいい」「『同行者控え室』は近隣情報も提供なども含めて活用していく」など活発な意見が交流されました。(少し暑気払いも)

さて、8月は猛暑の関西!会議はすべて取りやめて9月から活動開始です。11月には大河ドラマ「光る君へ」と関連させて宇治へ紅葉と「源氏物語ミュージアム」のハイキングを予定しています。途切れることのない活動ができる限りは精力的に進めていく所存です。

関西支部 支部長 長谷川 浩二(高校16回生)



同窓会支部だより

総会・懇親会・同期会

東京支部総会・懇親会

■開催日: 2024年6月1日(土)
■場所: ホテルグランドアーク半蔵門

6月1日(土)に東京支部総会・懇親会を昨年と同様のホテルグランドアーク半蔵門で開催し、82名の方々に参加して頂きました。

総会では、前年度の活動・決算報告、今年度の活動予定・予算案が審議され承認されました。懇親会では、同窓会本部から花田正会長をはじめ本部役員の方々、本校から篠崎博校長、飯塚市からは藤江美奈副市長にご出席いただき、筑豊地区の4つの高校の同窓会及び県人会からも来賓参加があり、皆様と広く交流を図ることができました。

和やかな歓談の後には卒業年次ごとにメンバーが壇上に上がり、自己紹介・記念写真を撮る時間を設けました。その後、出身中学ごとに壇上に上がり、恒例となった中学校歌を伴奏に合わせ歌いました。この試みは毎年、参加者の新たな発見と出会いを生み、楽しい



催しとなっています。そして当番幹事によるくじ引きイベントでは、景品として福岡の名品を厳選し楽しんで頂きました

今年の東京支部当番は24回生で、全員が初参加でしたが、関東から4名、福岡からも2名の方の参加があり、当番幹事長の服部さんのもと少数精銳で一致団結しての頑張りにより、賑やかな催しとなりました。新たに生まれた24回生の絆、心強く思いました。また、懇親会の司会では俳優としてご活躍中の51回生の芳野友美さんにお手伝いいただくという華やかな演出もありました。

終盤は、昨年の本部当番50回生のお礼の挨拶、今年度の本部当番51回生による飯塚本部同窓会のお知らせがあり、最後に50回生による力強い応援エールに続いて皆で校歌を合唱し、来年の再会を強く約束してお開きとなりました。

ご参加の皆様、誠にありがとうございました。

東京支部 支部長 伊藤 房憲(高校20回生)

第31回 福岡支部総会・懇親会

■開催日: 2024年6月22日(土) ■場所: 八仙閣 本店

去る6月22日(土)、福岡支部の同窓会が、昨年同様コロナ禍による人数制限もなく、しかも盛会裡に終えることが出来ました。喜ばしい限りです。役員・幹事の皆さん、本当に疲れさまでした。そして50回生の当番幹事の皆さん、当日の運営に多大なるご協力をいただきありがとうございました。

また、お忙しい中、同窓会本部から花田会長、本校から篠崎校長、東京支部から田原副支部長、熊本会から畠山代表をはじめ多くのご来賓の方々にもお越し頂きありがとうございました。

さて、会場の八仙閣本店では、昨年と変わらない総勢約120名の同窓生が集まって、久しぶりの再会に話が盛り上がり、校歌や逍遙歌を歌ったり、また恒例になりました「どんたく踊り」では皆がシャモジを持って輪になって踊ったり、歌ったりの楽しい懇親会となりました。懇親会前に行われた総会では、前年の決算と役員改選案および本年度の事業計画案・予算案をご承認頂きました。その直後の総会講演会では47回生・林田英二氏から【お菓子と私の人生】と題してクッキーを食べながらの楽しい雰囲気の中、「何事も諦めないことが勝利の秘訣だ」など有意義な話をいただきました。ありがとうございました。

ところで、昨年は福岡支部創設30年という記念すべき年でもありました。30年前、先輩方が苦労して作られ、これまで守り育てていたいたい同窓会福岡支部です。我々役員・幹事一同は、持続可能な同窓会という視点で、「参加して楽しかった、次も行きたい。」とわくわくするような魅力的な会になるよう、みんなで力を合わせて頑張って行く所存です。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

福岡支部 支部長 小川 民夫(高校20回生)





令和5年度 同窓会入会式 | ■2024年2月29日(木)

卒業式を、翌日に控えた3年生の同窓会入会式が、母校体育館において同窓会役員参加のもと厳粛に行われました。

篠崎校長先生から日頃のお礼のお言葉があり、続いて高校教師の経験を持っておられる同窓会の花田会長からは、ご自身の現役時代の教え子「華丸大吉さん」の当時を振り返りエピソードを交えながら、「人は向上心を持って自分の人生を考えることで、いかようにも変えられる」とお話しされました。嘉穂東高校同窓会の位置付けやあり方を

具体的に例を上げて説明され、今後のより良い人生にエールを送られました。

最後に同窓会委員長から、高校生活を終え、新しい道に進んで行く意気込みと決意の挨拶にて同窓会入会式は、終了しました。嘉穂東卒業76期生の幸多き未来を願います。

同窓会 副会長 林田 典子(高校31回生)

同窓会奨学金授与式 | ■2024年3月14日(木)

花田同窓会会長はじめ副会長3名、部長1名、副部長1名出席の下、第76期生を対象とする同窓会給付型奨学金授与式が校長室にて執り行されました。

校長をはじめ担当の先生方、保護者の方に見守られる中、花田会長より3名の生徒に奨学金が手渡されました。校長の推薦により、学業や行動面で模範となるような生徒に対して奨学金を授与することで、在学生の意識やモチベーションを高め、学校生活の一層の充実を図ることに繋がるものとして今年で10回目となる行事です。

対象に選ばれた3名の生徒からは「先生になって母校で働きたい」、「社会福祉士になりたい」、「情報系の仕事がしたい」といった希望に満ちた夢と決意が語られ、花田会長が「半年後または1年後に大学生生活を振り返って、それが経験したことを手紙で伝えて欲しい」とお願いしたところ、みんな快諾してくれました。



楽しいことや苦しいこと、これから色々な出来事があるでしょう。夢に向かって、それらをどのように乗り越え、成長していくのかとても楽しみです。

こうして奨学金授与式の様子を皆様にお知らせすることで、スクールサポーターの輪が広がっていくことを願っています。さらなるご支援とご協力を心よりお願い申し上げます。

広報部 部長 廣瀬 千鶴枝(高校30回生)



同窓会会員名簿の発行 |

このたび、令和7年版同窓会名簿を発行する運びとなりました。発行には慎重な声も聞かれますが、同窓会活動を広く皆様にお知らせし、発展させていくためには、定期的なデータ整備と名簿発行は必要不可欠なものであります。

そのためには、皆様に現在の登録内容をご確認いただき、ご希望を反映した正しい内容で管理することが何よりも大切であると考えてい

ます。整備されたデータは、母校、同窓会の最大の財産です。11月以降に現住所調査用のハガキが届きますので何卒ご協力をお願いします。

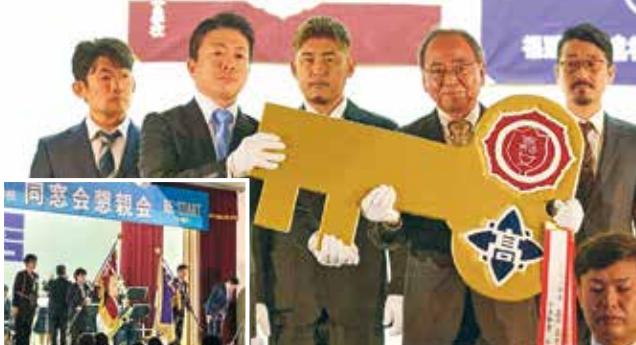
なお、個人情報保護法に基づき「安全」「正確」なデータ管理のため、会員名簿の作成では約50年の実績がある株式会社サラトに業務を委託しています。

同窓会会長
花田 正(高校23回生)



2023年同窓会総会・懇親会の報告

■開催日:2023年10月28日(土) ■場所:のがみプレジデントホテル



花田同窓会会長並びに来賓の方々によるご挨拶、そして乾杯。まず還暦を迎える34回生の写真撮影で宴は始まり、ステージは真っ赤なちゃんっこで鮮やかに彩られました。続いて50回生有志による御神楽演舞、古希を迎える24回生によるハワイアンフラ(10年前の還暦でも披露)とアトラクションが続き、11回生有志の皆さんには急ぎよ相撲専句「寅さんを偲んで」をご披露いただきました。

宴も佳境に入ったところで、お待ちかねの福引抽選会がマツケンサンバの曲とともに賑やかに始まり、会場のあちこちで、「やつた!」「当たった!」の歓声が響き渡りました。懇親会の終盤では、当番50回生の糸洲財務委員長より学校長へ、母校への熱い想いとともに寄付金が贈呈されました。

最後に、次回当番生の51回生への引継式を行った後、50回生による応援団演舞、そして吾が逍遙歌と校歌を全員で肩を組んで斉唱し、万歳三唱、会場がひとつになった瞬間でした。

黒木事務局長の閉会宣言で今年の懇親会は幕を閉じましたが、「コロナ禍の厳しい経験を糧に、まさに「RE・START～新時代～」というテーマに相応しい同窓会だったと改めて実感しました。ここに辿り着くまで、たくさんの苦労があつたことと思いますが、新しい風を吹かせてくれた当番50回生の皆さん、本当にありがとうございました。素晴らしい感動をありがとうございました。そしてお疲れ様でした。

広報部 部長 廣瀬 千鶴枝(高校30回生)

2023年同窓会本部総会・懇親会が「のがみプレジデントホテル」にて開催されました。総会では提出された全議案が可決され、4年ぶりの通常開催となった懇親会は、「コロナ禍以前の賑わいを取り戻しました。

オープニングムービーの後、吹奏楽部による演奏、校旗入場、そして当番50回生の荻野実行委員長による開会宣言により、待ちわびた時間の幕が開きました。



◎飯塚観光マイスター協会とは?

↓飯塚市を中心に近隣都市も含め筑豊地区の観光発展の為に7月に結成された案内人組織です。現在19名の方が登録されています。

◎観光マイスター協会設立と会長の思いは?

↓高校卒業後、進学の為飯塚を離れ40数年ぶりに帰郷、生まれ育った飯塚の事を詳しく知りたい、故郷に恩返しがしたいとマイスター協会を受講し、図らずも会長に就任しました。

飯塚は旧産炭地で荒廃せずここまで残つて繁栄している都市は、全国でも例を見ない都市です。それは江戸時代の宿場町を始め昔からの素晴らしい歴史の蓄積があるからだと思います。

今、インバウンドブームの日本ですが、海外の方に、沢山の日本の良さを知つてもらいたいと思います。

◎高校卒業後は?

↓進学を機に上京。学生時代のアルバイトをきっかけに、衆議院議員の秘書を17年経験、世田谷区議会議員を3期、議長も務めました。この経験は私の人生の掛け替えのない財産です。

◎嘉穂東高校での思い出は?

↓高校時代はバレー部主将として、バレーボールに夢中な3年間を過ごし、県大会ベスト8ま

で行きました。当時の高校生活は「レジャーランド嘉穂東」と言われるほど楽しく、体育祭、修学旅行など青春を謳歌しました。

◎母校の生徒にメッセージを

↓私の時代より校則は緩やかになつたと思いますが、「コンプライアンスは厳しい時代です。しかし周りのサポートに感謝して、小さくまとまるのことなく、やりたいことを思いつきりやってください。人生はまだ始まつたばかりです。

同窓生の活躍



飯塚観光マイスター協会 会長

川上 和彦さん(高校29回生)



飯塚観光協会のパンフレット



バスツアーのガイドとしても活躍されています



ごあいさつ

嘉穂高等女学校・嘉穂東高等学校
2024年度同窓会総会 実行委員会
実行委員長

大庭 由紀(旧姓:深町) (高校51回生)



胸が痛くなる出来事から始まった2024年。自然の前では人間の無力さを感じる出来事がたくさんありました。

『大切な人に突然会えなくなる』そんなことが当たり前に起こる。そう思うと日々を大切にしていこう、今出来る事は精一杯やっていこうと感じた出来事でした。

昨年度、3年振りに総会・懇親会が通常開催となりました。その後、私たち51回生は「同窓会実行委員会」を組織し、『東志～希望の集いここにあり～』をテーマに第一歩を踏み出しました。昨年度の懇親会に参加し感銘を受けた私たちは、この懇親会をこれから先も持続可能なものにしていきたいと考えました。と言うのも、今の在校生はクラス数も6クラスと少なく、私たちがいた時よりも、随分と生徒数が減っている事を知り、これから先は当番生の負担が大きくなるのではないかと思い、先々当番が来た時にも、安心して取り組める様にしていきたいと考えたからです。

先輩方が築いてこられた歴史のある同窓会懇親会を、私たちの代で大きく変える事に不安もありましたが、新しいかたちの懇親会になるよう、その一歩を踏み出しました。

チケット代を抑える為に、開催場所の変更も提案させていただきましたが、例年同様の懇親会をして欲しいという本部の希望に添い、でしたら懇親会はチケット代で賄えるようにさせて欲しいとご提案をさせて頂きました。この事は、ご参加される方にとっても大きな負担になる事は承知していましたが、新しいかたちの懇親会にしていく為にもどうしても変えたい事の1つでした。チケット代が上がる事で参加者の減少も想像しましたが、昨今の物価高。例年通りの懇親会を開催する為にはどうしても必要な金額でした。

新しいチャレンジだった事もあり、本当に苦労が絶えませんでした。そんな中、ご協賛いただいた企業

の皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。ご訪問しお話をさせていただく中で、私たちの新たなチャレンジをご理解いただき、背中を押していただき、少しずつ、不安が希望に変わっていました。先輩方から受け取った新しい時代のバトンを、私たちなりに考え、次の世代へ安心して渡していくたいと思い、1年間取り組んでまいりました。この取り組みには賛否があるかと思います。今まで100年以上も伝統を重ねてきたように、これから先何十年も何百年も続く伝統が、重く苦しいものでは無く、希望のある明るいものであって欲しいと思います。

実行委員長として活動してきたこの一年。至らない点が多く、実行委員の皆さんには本当に助けてもらいました。卒業以来会う機会が無かつたメンバーでしたが、一緒に取り組む事ができ、在学中では味わう事の出来なかった経験をさせてもらいました。みんながいてくれたから私は前を向いて進んでこれたと思います。本当にありがとうございます。

また、この同窓会活動を通して、たくさんの出会いがありました。理事会や支部周りでお声かけをかけてくださった先輩方。定例会の度に顔を出してくださり、温かく、時には厳しくご指導いただいた先輩方。協賛活動で悩んでいる時に繋いでくれた先輩方。分からないこと、困ったことを尋ねるとすぐに対応してくださいました。また、今回の懇親会参加を呼びかけて頂いた理事をはじめ、各回生代表の先輩方。多くの先輩方に支えられて本日を迎える事ができました。在学期間中には繋がることの無かつた多くの先輩方に、支えられていると感じた一年でした。本当にありがとうございました。

最後に、こういったイベントに不慣れな実行委員メンバーで取り組んできました。至らない点もあるかと思いますが、皆さんに楽しんでいただけたらと思います。最後までゆっくり仲間との再会をお楽しみください♪

本日はご参加いただきありがとうございました。

2025年度 総会・懇親会のお知らせ

当番期：高校52回生

2025.10.25 土

総会 12:00～ 懇親会 13:00～

会場：のがみプレジデントホテル（予定）

スローガン：「東の輪～2025情熱と誇りを持って～」

同窓会会員の皆様、当日は私たち52回生がお待ちしております。

皆様と楽しい時間が過ごせるように準備を頑張ってまいりますので、応援よろしくお願ひいたします。

2025年度
同窓会総会
実行委員長三宅 賢
高校52回生

本部役員 (R4. 定時総会終結日～R6. 定時総会終結日)

会長	花田 正（高23）
副会長	大塚 修一（高19）
	原田 敏規（高23）
	近藤 哲司（高31）
	林田 典子（高31）
総務部長	坂井 美智恵（高32）
財務部長	有江 俊哉（高38）
広報部長	廣瀬 千鶴枝（高30）
企画部長	久保井 英樹（高44）
監事	花村 憲次（高23）
	須堯 勇人（高24）

令和6年定時総会にて役員改選予定

福岡支部役員 (R6.4～)

支部長	小川 民夫（高20）
副支部長	矢野 光代（高8）
	藤正 敏（高18）
事務局長	山内 真紀子（高19）
事務局次長	野見山 清豪（高24）
広報局長	宮武 信介（高47）
広報局次長	中原圭子（高35）
会計	戸田 徹（高46）
幹事長	入江 裕章（高21）
副幹事長	淀川 雄治（高21）
会計監査	野見山 武典（高25）
	山本 美輝（高38）
	里高 弘和（高22）
	尾英樹（高28）

東京支部役員 (R5.4～)

支部長	伊藤 房憲（高20）
副支部長（渉外）	井手 せつ子（高17）
副支部長／事務局	田原 親志（高20）
副支部長／	
広報・事務局補佐	柴田 芳彰（高22）
事務局員／会計	山村 夕紀子（高20）
会計監査	豊田 俊文（高18）
	鍛治 礼子（高22）

関西支部役員 (R6.4～)

支部長	長谷川 浩二（高16）
副支部長	伊藤 日出雄（高21）
事務局長	花村 二郎（高26）
事務局員	森藤 健文（高50）
会計	平田 和洋（高27）
会計監査	富田 久美子（高24）
顧問	家中 良一（高8）

本部だより

■同窓会当番説明会

2024年2月22日(木)、高校52回生(平成12年卒)、高校53回生(平成13年卒)同窓会委員への当番説明会をのがみプレジデントホテルにて開催いたしました。役員会主催で、来年当番を迎える52回生、再来年当番を迎える53回生の同窓会委員を迎え、当番の流れ(実行委員会準備から解散までの概要・組織図の例)を説明いたしました。

早めに声掛けをすることにより、10月の総会・懇親会で「次期当番生」としての準備が少しでもスムーズにできればと思います。今年の当番51回生も同席し、今後の情報交換のための顔合わせができました。当番生の皆さんよろしくお願いします。

■年会費について

平成27年より正会員の会費として、同窓会会員の皆様から年会費3,000円をご納入いただく事が決定し毎年、趣意書と振込用紙を封書にて会員の皆様に発送させていただいております。現在、母校では生徒数が減少し準会員の会費収入は以前と比べて減少しております。同窓会本部として学校への物品購入にも支援を行い、基金積立金やクラブ後援会にも毎年、定額を繰入れてきました。

同窓会のさらなる充実と財政基盤の確立、母校の発展のため、年会費納入につきまして皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。



編集後記

日本中に猛暑をもたらした夏も終わり、少しずつ過ごしやすい季節になってきました。スポーツの秋・芸術の秋・読書の秋と皆さんも充実した日々をお過ごしのことと思います。

木々の葉が色づき始める季節…季節の変わり目はひとを遠い過去へと誘い少しセンチメンタルになってしまいます。この季節この瞬間を大切に胸に刻んでいきたいと思います。

今後も、「東陵」「東陵・特別版」に加え、同窓会の公式ホームページで皆様からのメッセージや多岐に亘る情報を発信してまいります。

卒業生のご活躍や同期会の報告、恩師の近況など皆様からの様々な情報をお待ちしております。

広報部

桂川町 老松神社の獅子舞

桂川町土師(けいせんまちはじ)にある老松神社(おいまつじんじゃ)では、1328年(嘉暦3年)から受け継がれてきた獅子舞が4月と9月の大祭で奉納されます。

五穀豊穣と家内安全を祈願したのが始まりといわれ、雄と雌の2頭の獅子が唐(中国)を出発して荒れ狂う東シナ海の荒波を越え日本に渡り、老松神社にたどり着く様子を大胆かつ優雅な舞いで表現しています。また、上土師地区と下土師地区が1年ごとに交代するため、それぞれ異なる舞を楽しめるのも特徴です。

「土師の獅子舞」は昭和32年に福岡県無形民俗文化財に指定されるなど、勇壮・優雅・繊細な動き・芸術性の高い郷土芸能として評価を受けています。

獅子舞の前には、白装束にはちまきを締め、五色の布でたすきを背にたらした子どもたちが、円陣を作りながら舞う「ま



わり打ち」が行われます。この「まわり打ち」は一年間の農耕作業の動作を表しています。笛や太鼓のリズムに合わせてステップを踏み、拝殿前の太鼓の前に順番が来ると、力を込めて打ち鳴らします。

前日からの大雨が嘘のように、薄い雲が日差しを遮るそよ風の中、今年も力強い獅子の姿と子どもたちの笑顔が老松神社に溢っていました。

広報部 部長 廣瀬 千鶴枝(高校30回生)

スクールサポーター募集について

「嘉穂東高校同窓会奨学金」制度が創設され毎年数名の生徒に授与しております。さらに1名でも多くの生徒への授与を目的として、「スクールサポーター」というかたちで、嘉穂東高校同窓会への寄付金を受け付けております。1口2,000円となっており、5口以上の企業・団体・個人の方は、ご希望により同窓会ホームページ内のバナーに掲載・紹介させていただきます。下記の郵便振替にてお申込みください。

◎郵便振替:新飯塚駅前郵便局 01790-8-142749「福岡県立嘉穂東高等学校同窓会」

◎スクールサポーターについてのお問い合わせは、norikohayashida8@gmail.com(担当:林田)まで

常時
受付中!

スクールサポーターのご紹介(50音順・敬称略)

■秋好尚美(高40回生) ■(株)アービックホームズ(高31回生) ■飯塚信用金庫(卒業生多数) ■井上洋服店(高24回生) ■今心(株)(高32回生他) ■筑豊情報マガジン「WING」(高51回生) ■(株)エース・デンタル(高30回生) ■Enishi CM Technology(株)(高30回生) ■榎本多賀子(高30回生) ■大塚修一(高19回生) ■大塚石材株式会社(高32回生) ■OKINAWA KISEKI HOUSE EAST&WEST(高30回生) ■オートテクノタ(高46回生) ■鹿子嶋鯉佳(高30回生) ■月光(高41回生) ■社会福祉法人嘉穂福祉会障害者支援施設「三愛園」(高38回生) ■(株)クボイ(高44回生) ■医療法人康和会「アイ歯科医院」(高17回生他) ■佐野医院(高24回生) ■(株)昌和運輸(高31回生) ■社会福祉法人清知会「なつき保育園」(高32回生) ■(株)玉置(卒業生多数) ■ジーンズショップナカムラ(高31回生) ■(株)ナカジマ建設(高44回生) ■中嶋プロパン瓦斯(株)(高35回生) ■(株)西田建設(高39回生) ■(株)ニッツー(嘉女29回生) ■(株)ネクストジェネレーション(高41回生) ■(株)のがみ「のがみ総合グループ」(卒業生多数) ■(株)バス(高30回生) ■花田正(高23回生) ■原田敏規(高23回生) ■廣瀬千鶴枝(高30回生) ■フェーズワンジャパン(株)(高30回生) ■(株)マクリー「うめはうす」(高24回生) ■松尾等(高32回生) ■松本益美(高12回生) ■(有)マルイチ商会(高31回生) ■三橋裕子(高31回生) ■村上ホーム(株)(高24回生) ■吉岡スタジオ(高17回生) ■楽天生命保険(株)代理店(佐藤伸一朗)(高28回生) ■(株)リースキン・サトー(高30回生)

■同窓会公式HPについて

役員会や理事会の案内、理事会議事録、同窓会活動の報告、学校行事の紹介、卒業生の話題、各支部総会の報告、創立百周年・百十周年記念の時の情報、刊行物の案内など、母校の情報を満載しております。また、スクールサポーターとしての寄付金(1口2,000円)を5口以上ご協力いただいた企業・個人の方はHP画面の下のバナー部分で紹介させていただくことが可能となっております。(右記参照)

●会員の皆様の住所等変更については、ホームページ内のお問い合わせページからも受け付けております。どうぞご利用ください。

同窓会公式ホームページでは、同窓生の皆様からの情報をお待ちしております。

●同窓会公式ホームページアドレスは <https://kahohigashi-doso.net> です。

嘉穂東高校同窓会

